

# 新しい夏の市民まつりの 方向性について

令和4年3月

新しい夏の市民まつり有識者会議



## — 目 次 —

1. 豊川手筒まつりの開催実績	1
2. 豊川手筒まつりの課題	3
3. 「新しい夏の市民まつり有識者会議」による方向性の検討	4
(1) 開催場所	
(2) 実施体制、連区（手筒関係者）との連携	
(3) イベントの内容	
(4) オブザーバーの意見	
4. 新しい夏の市民まつりの方向性について	9
5. 今後の予定等について	10
6. 有識者会議での意見・提案	11
7. 参考資料	13
(1) 新しい夏の市民まつり有識者会議設置要綱	
(2) 新しい夏の市民まつり有識者会議 名簿	
(3) 有識者会議の流れ	

## 1. 豊川手筒まつりの開催実績

昭和63年9月、豊川市制45周年に際し、「市民の結束と団結を図る市民参加型のイベントが必要」との声を反映し、毎年8月に行われていた「商業祭（豊川商工会議所主催）」を拡大する形で、古来より豊川市で伝統的に行われている「手筒煙火」をイベントの核となる素材として、豊川商工会議所が中心となって「第1回豊川手筒まつり」が開催されました。

### ・豊川手筒まつりの開催実績

回数	年度	開催日	会場	来場者数	参加連区・人数	市民おどり	備考
第1回	昭和63年度	9/17	野球場	30,000	9連区 451	16団体 560人	
第2回	平成元年度	8/26	陸上競技場	40,000	9連区 523	20団体 757人	
第3回	平成2年度	8/25	野球場	50,000	9連区 559	20団体 845人	
第4回	平成3年度	8/24,25	野球場	70,000	9連区 560	24団体 1,075人	前夜祭開始
第5回	平成4年度	8/21,22	野球場	80,000	9連区 688	24団体 1,057人	
第6回	平成5年度	8/27,28	陸上競技場	80,000	9連区 659	25団体 1,034人	市政50周年事業
第7回	平成6年度	8/26,27	陸上競技場	84,000	9連区 456	25団体 1,034人	
第8回	平成7年度	8/25,26	陸上競技場	86,000	10連区 720	28団体 1,132人	海軍工廠被爆50年追悼
第9回	平成8年度	8/23,24	陸上競技場	89,000	10連区 680	27団体 1,090人	
第10回	平成9年度	8/22,23	陸上競技場	114,000	10連区 648	26団体 1,091人	会議所50周年事業
第11回	平成10年度	8/28,29	陸上競技場	105,000	10連区 674	雨天中止	
第12回	平成11年度	8/27,28	陸上競技場	120,000	10連区 803	25団体 1,000人	
第13回	平成12年度	8/25,26	陸上競技場	123,000	9連区 671	23団体 955人	
第14回	平成13年度	8/24,25	陸上競技場	125,000	10連区 642	25団体 1,000人	前夜祭終了
第15回	平成14年度	8/25	陸上競技場	85,000	9連区 483	22団体 800人	
第16回	平成15年度	8/23	陸上競技場	85,000	11連区 688	20団体 800人	市政60周年事業
第17回	平成16年度	8/28	陸上競技場	80,000	10連区 580	19団体 700人	
第18回	平成17年度	8/27	陸上競技場	80,000	10連区 526	17団体 650人	
第19回	平成18年度	8/26	陸上競技場	85,000	10連区 531	17団体 580人	
第20回	平成19年度	8/25	陸上競技場	90,000	12連区 611	15団体 570人	会議所60周年事業
第21回	平成20年度	8/24	陸上競技場	85,000	12連区 663	14団体 600人	
第22回	平成21年度	8/22	陸上競技場	95,000	12連区 693	15団体 670人	
第23回	平成22年度	8/28	陸上競技場	95,000	11連区 564	15団体 630人	
第24回	平成23年度	8/27	野球場	80,000	12連区 651	13団体 566人	
第25回	平成24年度	8/25	野球場	90,000	13連区 720	13団体 580人	
第26回	平成25年度	8/24	野球場	95,000	13連区 709	12団体 570人	市政70周年事業
第27回	平成26年度	8/23	野球場	90,000	14連区 715	11団体 600人	
第28回	平成27年度	8/22	野球場	92,000	14連区 660	11団体 600人	市民おどり終了
第29回	平成28年度	8/27	野球場	78,000	14連区 688	-	
第30回	平成29年度	8/26	野球場	85,000	14連区 701	-	会議所70周年事業
第31回	平成30年度	8/25	野球場	85,000	13連区 654	-	
第32回	令和元年度	8/24	野球場	87,000	13連区 669	-	

令和元年度の第32回目を最後に、豊川手筒まつりは惜しまれつつ終焉を迎えました。最後に行われた手筒まつりの開催状況は、下記のとおりです。

・令和元年度 第32回豊川手筒まつりの開催状況

実施体制	
主催	豊川市民まつり協議会・豊川手筒まつり実行委員会
事務局	豊川商工会議所
共催	豊川市、豊川商工会議所、豊川商工会議所青年部、豊川市観光協会、ひまわり農業協同組合、豊川市民憲章推進協議会、豊川市連区長会、豊川市商店街連盟、（公社）豊川文化協会、（一社）豊川青年会議所、陸上自衛隊豊川駐屯地、豊川市交通安全指導隊、音羽商工会、一宮商工会、小坂井商工会、御津町商工会
開催規模	
開催時間	午後6時～9時
煙火等数量	手筒煙火約400本（13連区 669人） 打ち揚げ約2,000発、仕掛煙火他（打揚・仕掛花火36人）
有料観覧席	520マス（1マス10人定員）
屋台	60店舗程度
従事・協力者数	
	計 413人
警備等従事	豊川市役所 147人 豊川市交通安全指導隊 71人 （一社）豊川青年会議所 40人 豊川商工会議所青年部 36人 企業協力者 6社 29名 豊川商工会議所 17人 （公社）豊川文化協会 11人 豊川商工会議所女性会 5人
会場設営準備	陸上自衛隊豊川駐屯地隊員 57名
予算収支概算	
	39,618千円
収入	負担金(4団体) 12,600千円, 観覧客売上 5,295千円 協賛金(約550件) 21,030千円, 繰越金等 693千円
支出	会場設営費 14,500千円, 看板設置費 323千円 広告宣伝費 2,306千円, 各種イベント費 188千円 煙火直接関係費 16,396千円, 管理費 5,905千円

## 2. 豊川手筒まつりの課題

豊川手筒まつりは、イベント開催に伴う社会環境の変化、また、事務局に求められる役割・責務の変化によって、実施にあたっていくつかの問題を抱えることとなり、平成31年1月18日『豊川市民まつり「豊川手筒まつり」今後の開催方針』でそれらの問題を示したうえ、豊川商工会議所以外に事務局を受け入れる団体がなく、当時の開催方法による開催は令和元年度をもって、終了とすることとなりました。

豊川商工会議所が「豊川手筒まつり」の事務局を担うことができなくなった理由としてあげられた問題事項について、課題として整理します。

### ① 会場の問題

・夜間に大勢の市民が来場する花火会場として、野球場では会場が狭く、出入口の制限がある等、緊急時の対応において安全上の問題がある。

### ② 事故、トラブル等発生時の豊川商工会議所職員による対応が困難

・各地のイベントでも事故やトラブルが相次ぎ、主催団体に求められる責務は重大になっているが、豊川商工会議所の限られた職員では対応に限界があり、また、警備担当のボランティアに観客の避難誘導や整理を担うことには無理がある。

・手筒煙火の進行管理なども豊川商工会議所が担っているが、参加連区に今まで以上の協力・負担をお願いすることはできない。

### ③ 重大な事故が発生した場合の責任の所在

・深刻な事故が発生した場合、その責任を主催の会長である豊川商工会議所の会頭が個人的に負わなければならない可能性があり、市民まつりとして開催している行事の責任を経済団体の代表が負うことは負担が大き過ぎる。

### 3. 「新しい夏の市民まつり有識者会議」による方向性の検討

豊川手筒まつりに代わる夏の市民まつりの開催について検討を行うため、「新しい夏の市民まつり有識者会議」（以下、「有識者会議」という。）を設置しました。有識者会議の設置の目的は、その設置要綱に次のとおり定めています。

#### 新しい夏の市民まつり有識者会議設置要綱 抜粋

（設置）

第1条 市民相互の連帯感の醸成、伝統文化の承継及び本市産業・観光の振興を目的に、「豊川手筒まつり」の後継となる新しい夏の市民まつりを開催することに関し、識見を有する者等から意見を求めるため、新しい夏の市民まつり有識者会議（以下「有識者会議」という。）を設置する。

有識者会議では、豊川手筒まつりでの課題を踏まえ、準備が整う前提で最短の令和5年度開催を掲げて、新しい夏の市民まつりの場所、体制、内容に関する方向性について検討しました。

#### （1）開催場所

##### ● 豊川手筒まつりの課題から検討が必要な事項

- ・避難経路の確保できる場所・会場
- ・次の条件が満たされる場所であること
  - ① 花火の保安距離が確保できる。
  - ② 避難経路が確保できる。
  - ③ 近隣住民への影響がない。
  - ④ 公共交通機関の利便性がある。
  - ⑤ 駐車場が確保できる。
- ・陸上競技場のまつり会場としての使用可能性

## ● 方向性

- ・陸上競技場を花火の会場として使用する場合、野球場同様、芝生やトラック、隣接する新しく整備するテニスコートを養生し、施設や芝生等に破損等があった場合は、修繕して原状復帰してもらおうという条件付きだが、陸上競技場の隣接する施設を含めた豊川公園周辺で実施することは可能。
- ・陸上競技場グラウンドの使用にあたっては、ステージは最小限にするなど、極力、施設の負担軽減に努める。
- ・陸上競技場は花火、野球場・ケヤキ並木等は飲食関係など、イベント目的ごとに会場を分け、避難時等の安全面での確保、会場分散によるコロナ対策を図る。
- ・令和5年度に開催する場合、豊川公園整備工事が令和5年度末の完了予定で進められており、まつりの準備から撤収までの期間は、工事を休止するなど調整が必要。

## (2) 実施体制、連区（手筒関係者）との連携

### ● 豊川手筒まつりの課題から検討が必要な事項

- ・最終責任者の所在
- ・実施主体と協力体制のあり方
- ・連区との調整方針

### ● 方向性

- ・これまでの課題から、大会長は豊川市長とする。
- ・実施主体としては、豊川市観光協会、豊川商工会議所、豊川市を中心としたオール豊川での新たな実行委員会を設置。
- ・観光の振興、地元の飲食店の出店を促すことを目的とすることから、豊川市観光協会を主とした事務局の体制とする。
- ・協賛金の収集は、これまでのノウハウを活かし豊川商工会議所を中心とした体制で実施。



- ・手筒の放揚は、手筒まつりに参加していた各連区に相談し、意見を踏まえた検討が必要。
- ・警備において、実施主体の構成団体等の協力も負担できる範囲内で必要だが、安全確保を優先し、必要に応じて専門業者への業務委託を検討。

### (3) イベントの内容

#### ● 豊川手筒まつりの課題から検討が必要な事項

##### 【花火・イベントの内容】

開催時間	花火			グルメ・物産			ショー等
	手筒	打ち上げ	仕掛け等	露店・屋台	キッチンカー	テント設営	
18～21時	124分	22分	28分	約60店舗	0店舗	0店舗	なし
内容	約400本	スターマイン 約2000発	中国煙火、仕 掛、綱火、滝	飲食、 おもちゃ 等	-	-	-

- ・約3時間の開催時間のうち、手筒が124分(69%)、打ち上げ22分(12%)、仕掛け等28分(16%)。それぞれ交互に行い、変化をつけていた。
- ・手筒花火は1回あたりアナウンス・準備も含めて20本近く放揚し7～8分
- ・打ち上げ花火は、1回あたり200発近く打ち上げて2分程
- ・イベントの規模、入場者数に対し、会場として野球場では会場が狭く、出入り口の制限がある等、緊急時の対応において安全上の問題があった。

##### 【グルメ・物産の内容】

- ・露店のみの出店。地元事業者、キッチンカーの出店はなし。

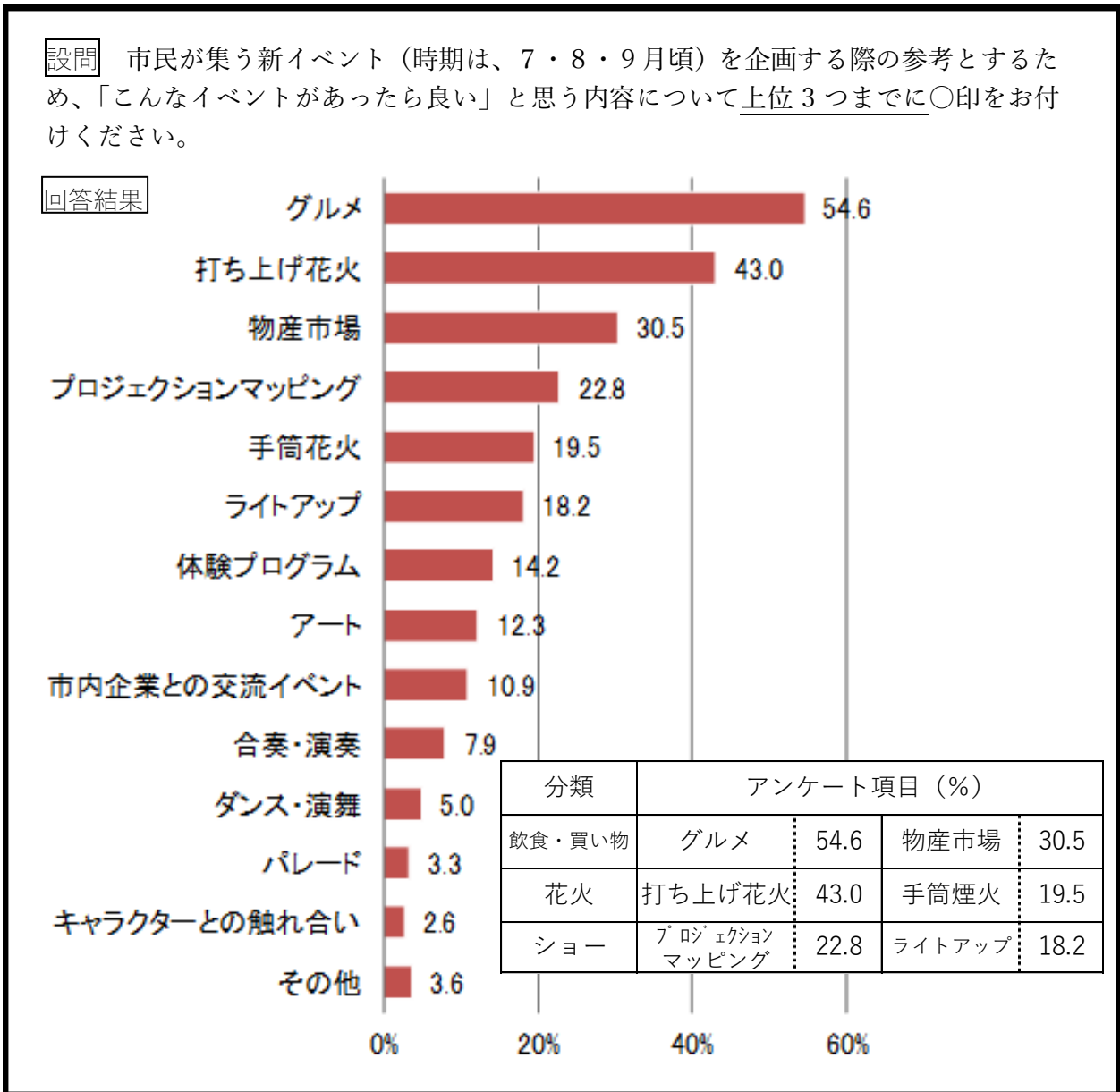
##### 【検討が必要な事項】

- ・手筒・花火の規模縮小
- ・グルメ等物産の出店者、内容

● アンケート調査による市民ニーズの把握

市民、市内に通勤・通学する方を対象に、まつりにおいて希望するイベントについてのアンケート調査を実施し、市民のニーズを把握しました。

・アンケート項目と回答結果



- ・グルメ・物産などの買い物ができるイベントの希望が大きい。
- ・花火は、打ち上げ花火の希望が大きい。
- ・見て楽しめるイベントの希望も少なからずある。

## ● 方向性

- ・アンケート結果から、手筒花火以外のグルメ・物産イベントの希望が大きい。有識者会議設置要綱の趣旨を踏まえて、手筒・花火は一つの要素としたうえ、グルメ・物産市場・ショーの要素を取り入れた、見て楽しめるイベント。
- ・グルメ・物産市場では露店のほか、商工観光業の振興・PRのため、地元事業者やキッチンカーも参加・出店。
- ・手筒・花火の時間は、他事例を見ても90分程度が主流で、豊川手筒まつりの3時間は長いため、1時間から2時間程度で開催。
- ・ショーの内容はアンケート結果を踏まえた検討を、新しい体制で進める。
- ・コロナ対策について、今後の感染状況に応じた対応を検討する必要がある。

## (4) オブザーバーの意見

- ・各種事故の防止、火薬の事故、交通事故、一番はやっぱり明石のような雑踏事故、こういった事がないようにやっていただきたい。
- ・イベントが大きくなれば、警備員を増やす指導が必要となり、交通規制についても市民への影響を配慮した協議となる。
- ・今後、内容や会場、時間等が具体化していく中で、会場の位置関係や多くの観客の動線も考慮し、また、全国的に警備員の役割としての警察官の人員協力は、お断りしている状況なので、その点も踏まえた、安全対策及び警備計画の検討が必要。
- ・消防の立場からは、火災予防の観点からの事務局への指導が今後必要。緊急時の消防車両の動線の確保も考慮した会場レイアウトの検討が必要。
- ・花火の号数、大きさ、火薬の量に応じて保安距離が決まるため、それに見合った保安距離をとる必要がある。
- ・露店を行う場合、火気の取扱いも十分注意する必要がある。

## 4. 新しい夏の市民まつりの方向性について

有識者会議では、豊川手筒まつりでの課題を踏まえたうえ、新しい夏の市民まつりの開催にあたって、場所・体制・内容についての方向性について検討した結果として、次のとおりまとめました。

### ① 開催場所

- ・陸上競技場及び隣接する施設を含めた豊川公園周辺で実施を想定
- ・会場を陸上競技場、野球場など複数に分散することで安全確保
- ・陸上競技場、野球場の芝生やトラック、隣接する新テニスコートの養生が必要

### ② 実施体制、連区（手筒関係者）との連携

- ・大会長：豊川市長が望ましい
- ・実施主体：豊川市観光協会、豊川商工会議所、豊川市を中心としたオール豊川での新たな実行委員会
- ・事務局：豊川市観光協会
- ・手筒放揚：連区の意見を踏まえ検討
- ・警備：安全確保を考慮し、必要に応じ委託を検討

### ③ イベントの内容

- ・手筒・花火を一つの要素とし、グルメ・物産市場・ショー的な要素を取り入れた、見て楽しめるイベント
- ・手筒・花火は、1時間～2時間程度
- ・コロナ対策を考慮した開催方法の検討

## 5. 今後の予定等について

有識者会議で示された方向性や、豊川市議会での予算審議における質疑答弁等での意見を踏まえ、新しい夏の市民まつりの開催は決定されていないことを前提に、令和4年度は構想・計画の検討に着手し、関係機関等の合意形成が得られるよう努め、開催時期も適切な時期をあらためて提示していきます。

### ・「新しい夏の市民まつり検討委員会（仮称）」の立ち上げからの流れ

令和4年度に、「新しい夏の市民まつり検討委員会（仮称）」（以下、「検討委員会」という。）を立ち上げ、まつりの基本的な構想・計画を検討し、関係機関等との合意形成が得られるよう全体像を提示

### ・「検討委員会」の主なメンバーと令和4年度の予算

「検討委員会」のメンバーとしては、市民まつり協議会等の既存組織を参考に、実施主体の中心的メンバーとして、観光協会、商工会議所、豊川市などで構成し、事務局は観光協会を予定。また、豊川市商店街連盟、ひまわり農業協同組合、豊川青年会議所、商工会議所青年部、商工会議所女性会などの各団体から10名程度を想定。検討委員会で必要となる計画検討のための計画立案の委託料や、事務局の人件費等の経費として、令和4年度予算に補助金602万円を計上

### ・責任・実施体制、イベントの構想・計画の検討事項

概要（主旨、テーマ、ネーミング、ゾーニング、施設配置、演出等）

運営計画図（施設・設備図、出店計画図、演出計画図）

防災消防計画、駐車場計画、警備・案内誘導計画

経費の収支（協賛計画）、広報計画

### ・開催時期の検討

十分な安全確保、開催に必要な準備期間も踏まえて、適切な開催時期を検討

## 6. 有識者会議での意見・提案

第1回及び第2回の有識者会議において出された、その他の様々な意見・提案等をまとめました。

### イベント・内容について

- ・青森のねぶた祭、徳島の阿波踊りを呼んだり、昼間だったら大きな物産展、プロジェクションマッピングとか、いろいろ催しをやって盛大にやったらどうか。
- ・市民の多くがまつりに参加できる工夫として、商店街等と共同イベントを行い、フィナーレとしての諏訪地区での花火という案もあるのでは。
- ・駐屯地の各イベントに合わせたグルメ、物産イベントのコラボも一案。夏まつりだけでなく、駐屯地の他のイベントと一緒に実施することも可能。
- ・手筒まつりに関しては、東三河、また豊川でのひとつの大きなシンボリックなお祭り。この火を消さないようにうまく調整しながら、また新しい形に残しながらやればよい。
- ・手筒各連区が手筒を揚げれるよう開催日を数日設定してはどうか。開催時間の短縮で手筒花火の各連区の手筒が減少するため。
- ・あれもこれも盛り込むと大変、花火なら花火、飲食なら飲食に特化し、少し規模を縮小して専門化して、時期も少し分散して、やれるところからやっていく。
- ・イベント、まつりのやり方をコロナ対応する必要がある。長期的なスパンで分散した開催、または時間を短くする工夫。
- ・場所も含めて分散開催だとか、時期をひとつずつ分けて、もう少し小規模にやるのも一つ。
- ・大勢を集めてやると、費用もリスクもかかるので、今後同じようなかたちの大規模イベントをやるのはなかなか難しい。

### 実施体制について

- ・最終責任は、豊川市がとる形式が良い。
- ・新しい実施体制においては、オール豊川で役割分担していく必要があり、事務局の主体となる観光協会に任せっきりになるのではなく、施設主管課や構成団体各々が主体性をもってできるかが今後の課題。

### 場所について

- ・打上花火の打上場所については、花火殻等の影響も考えながら、今後考慮すべきと考える。
- ・手筒花火にこだわるのなら野球場では無理。御津の海岸の方など、場所を変える必要があるのではないか。
- ・現状の場所しかできないということになった時、打ち上げ花火は保安距離の問題で、大きな花火は上げられない。大きい花火こそこういった市民まつりでないと上げられないので、そういったところで考えられないのか。
- ・豊川駐屯地訓練場等、自衛隊施設活用も一案。豊川駐屯地自動車教習所、千両演習場、日吉原演習場等の活用も可能。
- ・送迎バスを使えば、ある程度、車とか駐車場を軽減できるのではないか。

## 7. 参考資料

### (1) 新しい夏の市民まつり有識者会議設置要綱

#### (設置)

第2条 市民相互の連帯感の醸成、伝統文化の承継及び本市産業・観光の振興を目的に、「豊川手筒まつり」の後継となる新しい夏の市民まつりを開催することに関し、識見を有する者等から意見を求めるため、新しい夏の市民まつり有識者会議（以下「有識者会議」という。）を設置する。

#### (所掌事務)

第2条 有識者会議は、市長からの諮問に応じて、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 新しい夏の市民まつりの開催に係る課題及びその解決に関する事項
- (2) 前号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項

#### (組織)

第3条 有識者会議は、会員20人以内をもって組織する。

#### (会員)

第4条 会員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 豊川市における市民まつりの開催に関して識見を有する者
- (2) 豊川市の職員
- (3) 前2号に掲げる者のほか、市長が適当と認める者

2 会員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

#### (会長)

第5条 有識者会議に会長及び副会長を置き、市長が指名する。

- 2 会長は、有識者会議を代表し、その業務を統括する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

#### (任期)

第6条 会員の任期は、委嘱の日から令和4年3月31日までの期間とする。



(会議)

第7条 有識者会議の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集する。

2 会議の議長は、会長をもって充てる。

3 会議は、会員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

4 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 有識者会議は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、その意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(事務局)

第8条 有識者会議の事務を処理するため、事務局を産業環境部商工観光課に置く。

(議事録)

第9条 事務局は、会議ごとにその議事録を作成しなければならない。

(謝礼金)

第10条 市長は、会議に出席した会員に対し、日額8,600円の謝礼金を支払うものとする。ただし、国家公務員又は地方公務員である者については、この限りでない。

2 謝礼金の辞退があった場合、謝礼金の支払いは、行わない。

(委任)

第11条 この要綱に定めるもののほか、有識者会議の運営に関し必要な事項は、会長が有識者会議に諮って定める。

附 則

この要綱は、令和3年8月1日から施行する。

(2)新しい夏の市民まつり有識者会議 名簿

所属	役職	氏名	備考
豊川市	産業環境部長	鈴木 敏彰	会長
豊川商工会議所	専務理事	長谷川 完一郎	副会長
豊川市観光協会	専務理事兼事務局長	平賀 菜由美	
豊川市連区長会	会長	細井 勉	
豊川市商店街連盟	会長	渡辺 稔明	
一宮商工会	事務局長	豊田 雅章	
ひまわり農業協同組合	総合企画部長	溝口 隆文	
一般社団法人 豊川青年会議所	理事長	大石 宗弘	
公益社団法人 豊川文化協会	専務理事	田中 邦宏	
豊川市交通安全指導隊	隊長	宮田 憲司	
陸上自衛隊豊川駐屯地	司令職務室長	北村 家一	

オブザーバー

所属	役職	氏名	備考
愛知県豊川警察署	生活安全課長	渡辺 聡	
	地域課長	早川 正樹	
	交通課長	金原 剛	
豊川市消防本部	予防課主幹	茂木 伸能	

事務局

所属	役職	氏名	備考
豊川市	産業環境部次長	木村 晋也	
	産業環境部商工観光課長	望月 崇宏	
	産業環境部商工観光課 課長補佐	若生 明伸	
	産業環境部商工観光課観光係長	山本 茂樹	
	産業環境部商工観光課観光係	加藤 祐一	
豊川商工会議所	経営支援グループ中小企業相談所長	村上 幸治	
豊川市観光協会	統括マネージャー	鈴木 一寛	

(3) 有識者会議の流れ

